

◇セルビデオショップのための情報誌◇

SNA ニュース 335 号

(令和5年12月28日発行)

特定非営利活動法人

セルメディアネットワーク協会

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北 3-1-9

青田ビル 302 号

TEL 03 (5327) 4224

FAX 03 (5327) 4225

<http://www.sna@sna-j.com>

行 政 ・ 法 律 関 係

児童虐待 児童相談所が対応の件数 昨年度 21 万 9170 件 過去最多 2023 年 9 月 7 日

子どもが親などから虐待を受けたとして児童相談所が相談を受けて対応した件数は、昨年度、21 万 9000 件余りで過去最多となったことが、こども家庭庁のまとめでわかりました。

こども家庭庁によりますと、昨年度、18 歳未満の子どもが親などの保護者から虐待を受けたとして全国の児童相談所が相談を受けて対応した件数は、速報値で 21 万 9170 件でした。

内容別では

▽子どもの前で家族に暴力を振るうなどの「心理的虐待」が最も多く、12 万 9484 件と、前の年度から 4700 件余り増え、全体のおよそ 6 割を占めました。

次いで

▽殴るなどの暴行を加える「身体的虐待」が 5 万 1679 件

▽育児を放棄する「ネグレクト」が 3 万 5556 件

▽「性的虐待」が 2451 件でした。

相談の経路は、

▽警察などが 11 万 2965 件で全体の半数を占め、

▽近隣の知人が 2 万 4174 件

▽家族や親戚が 1 万 8436 件などとなっています。

虐待の相談件数は統計を取り始めた平成 2 年以降増加傾向が続いていて、昨年度も前の年度より 1 万 1510 件増えて、過去最多となりました。

相談件数の増加は、家庭内に子どもがいる状況で家族に暴力を振るう、いわゆる「面前 DV」が増え、「心理的虐待」として警察から通告される件数が増加していることや、関係機関の児童虐待防止に対する意識や感度の高まりなどが要因とみられるということです。

こども家庭庁は、

▽増加傾向にある相談件数に対応できるよう、全国の児童相談所などの体制を強化するとともに、

▽妊娠期からリスクを拾い上げて必要な支援を行うなど、
児童虐待の予防策を強化していくとしています。

事 件 事 故 関 係

**必死…女兒が抵抗、体を触ろうとバイク男が服つかむ 夕方前の住宅街 服を引っ張られた
女兒、通行人が目撃し通報 逃げた男逮捕、介護職員の37歳「わいせつ行為しようかと」**

11/30(木) 埼玉新聞

埼玉県警春日部署は28日、不同意わいせつ未遂の疑いで、春日部市銚子口、介護施設職員の男(37)を逮捕した。

逮捕容疑は9日午後3時45分ごろ、春日部市の住宅街の路上で、歩いていた小学生の女子児童の服を引っ張り、わいせつな行為をしようとした疑い。同署によると、男はバイクに乗って女兒の服をつかんだが、女兒が抵抗し、目撃した通行人が110番した。付近の防犯カメラから男が浮上した。女兒と面識はなく、「わいせつな行為をしようとした」と容疑を認めているという。

JR 鹿児島線の列車内で女子高校生を触った疑い 目撃男性が取り押さえる 福岡

11/30(木) 福岡放送

JR 鹿児島線の列車内で女子高校生の体に触ったとして、福岡市の自称・派遣社員の男が30日、逮捕されました。不同意わいせつの疑いで現行犯逮捕されたのは、福岡市東区の自称・派遣社員、牧康平容疑者(35)です。警察によりますと、牧容疑者は30日午後6時50分ごろ、JR箱崎駅に停車中の列車内で降りようとしていた16歳の女子高校生の尻を服の上から触った疑いが持たれています。近くにいた30代の会社員の男性が目撃して牧容疑者を取り押さえ、駅員に知らせました。警察の調べに対し「体を触った事実はあるが、詳しく覚えていない」と容疑を一部否認しているということです。

わいせつ誘拐容疑で警視正を再逮捕 10代女性に性的暴行 広島県警 12/4(月) 時事通信

マッチングアプリで知り合った10代の女性を誘い出し、性的暴行を加えたとして、広島県警は4日、わいせつ目的誘拐や不同意性交等などの容疑で、中国四国管区警察学校(広島市)指導部付の警視正岩本幸一容疑者(58)を再逮捕した。容疑を否認しているという。岩本容疑者は先月、別の女性への不同意性交等と強要の罪で逮捕、起訴された。1回目の逮捕時は同警察学校の指導部長を務めていた。再逮捕容疑は10月5日、マッチングアプリで知り合った女性を誘い出して自分の車に乗せ、「ほんとは警察ってばれないように連れて行かないといけんのんじゃ」などと言って広島市内の宿泊施設に行き、「始末書」と題した書面を作成させた上で性的暴行を加えた疑い。県警によると、岩本容疑者は宿泊施設に向かう際、路上で車を止めて上着の下に着込んでいた警察の制服を見せ、警察官と信用させていた。県警は、他にも被害者がいるとみて捜査を進めている。

昼寝中の女兒の体触った疑い 29歳元保育士逮捕「タイプだった」 12/5(火) 毎日新聞

保育園内で園児にわいせつな行為をしたとして、千葉県警捜査1課は4日、市川市高谷2の元保育士、高橋遼容疑者(29)を不同意わいせつ容疑で逮捕した。

逮捕容疑は、11月4日午後1時～同2時ごろ、県内にある私立の認可保育園内で昼寝中の女児に対し、体を触るなどのわいせつな行為をしたとしている。同課によると、高橋容疑者は事件当時、同園の職員だった。被害女児が同日、別の職員に「触られた」と話したことから発覚したという。高橋容疑者は「昼寝で目を覚まさない子がほとんどで、ばれないと思った。児童が好みのタイプだった」などと容疑を認めている。同園には約120人の園児が通っている。事件当時、別の職員と1人ずつ交代で昼寝の見守りをしていたといい、部屋には被害を受けた女児を含め10人ほどが寝ていたという。同園は11月、高橋容疑者を懲戒解雇処分にした。

1人で登校中の小学生(12)に路上で性的暴行か 20歳無職の男を逮捕

12/5(火) RKB 毎日放送

今年11月、福岡県内の路上で、ひとりで登校していた12歳の小学生の女の子に性的な暴行を加えたなどとして、20歳の無職の男が逮捕されました。

いきなり後ろから抱きつき性的暴行か

不同意性交等などの疑いで逮捕されたのは、福岡県宗像市土穴の無職・八並孝徳容疑者(20)です。八並孝徳容疑者は、今年11月29日午前8時40分頃、福岡県内の路上をひとりで登校していた小学生の女の子(12)にいきなり後ろから抱きつき、性的な暴行を加えた上、わいせつな行為をした疑いが持たれています。

パトロール中の警察官が容疑者を発見

事件当日に、被害を受けた女子児童の関係者から、「性行為されたようだ」と通報があり、事件が発覚。12月5日、パトロール中の警察官が、事件当時防犯カメラに映っていた男と良く似た八並容疑者を発見し、逮捕に至りました。

周囲に人はおらず路上で襲われた

警察によりますと、事件が起きた場所は、普段は人通りがある場所だということですが、事件当時は、周囲に人がいなかったということです。

「間違いありません」容疑認める

警察の取り調べに対し八並容疑者は「間違いありません」と容疑を認めているということです。警察は動機などについて詳しく捜査しています。

岡山県警が闇バイトへの加担防止を訴え 警察官と中学生が演劇で共演

12/6(水) 日刊警察

岡山県警察本部少年課は、若い世代がアルバイト感覚で犯罪に加担しないようにする教育・啓発活動の一環で、演劇に力を入れている倉敷市立西中学校演劇部と協力し「『#STOP 闇バイト@倉敷』～闇バイトに加担しないために～」と題する演劇を披露した(写真)。警察官と部員が共演し「闇バイト」の危険性、加担防止を訴えている。

公演会場は倉敷市倉敷西公民館。演劇では、少年がSNSを介して闇バイトに勧誘され、特殊詐欺グループの受け子として警察に逮捕されるまでの実態が描かれている。中学生の演劇部員と警察官がそれぞれの役割を演じており、闇バイトに絡む危険性を強調して訴えた。

車の中で10代女性に不同意わいせつ 会社役員の男「していない」と否認

12/6(水) 南日本新聞

鹿児島県警は5日、不同意わいせつの疑いで、奄美市名瀬朝日町、会社役員の男(38)を逮捕した。逮捕容疑は9月下旬、男の車内で10代女性にわいせつな行為をした疑い。県警によると、女性の関係者から届け出があった。男は「そのようなことはしていない」と否認している。

「弁解もありません」交際歴ある少女(16)のわいせつ写真を撮影か、団体職員の男(37)を逮捕 12/6(水) RKB 毎日放送

かつて交際していた少女(当時16)にわいせつなポーズをとらせ、その様子をスマートフォンで撮影したとして、団体職員の男(37)が6日、児童ポルノ禁止法違反の疑いで逮捕されました。わいせつなポーズをとらせて撮影か

農業関連の団体職員・田中利和容疑者(37)＝福岡市早良区梅林は、去年12月ごろから今年4月ごろ、交際歴のある少女(当時16)の児童ポルノを製造した疑いが持たれています。警察は、田中容疑者が少女の自宅を訪れ、わいせつなポーズをとらせてスマホで撮影・保存したとみています。18歳未満の認識があったとして立件に踏み切りました。

押収されたスマホから24点の“わいせつ画像”

警察によりますと、先立って、別事件の容疑で田中容疑者の自宅を家宅搜索。押収したスマートフォンから24点のわいせつな画像が見つかり、児童ポルノ事件への関与が浮上したということです。田中容疑者は、取り調べに対し「事実に間違いありません、弁解もありません」などと供述し、容疑を認めているということです。

女子児童ら延べ151人を盗撮した元小学校教諭、保護観察・執行猶予付きの有罪判決…横浜地裁 12/6(水) 読売新聞

女子児童ら延べ151人を盗撮し、動画を保存したとして、児童買春・児童ポルノ禁止法違反(製造)などに問われた神奈川県綾瀬市、元教諭の男(39)に対し、横浜地裁(小泉満理子裁判官)は6日、懲役3年、保護観察付き執行猶予5年(求刑・懲役4年)の判決を言い渡した。

判決などによると、男は2019年4月～21年10月、勤務していた小学校の教室や保健室に小型カメラを設置し、健康診断や着替え中の女儿ら延べ151人を盗撮した。

21年9月に校内で女儿の胸を触るなどしたほか、翌10月には修学旅行中に栃木県日光市の旅館浴場に侵入して小型カメラを設置したとして、強制わいせつや建造物侵入の罪でも起訴され、いずれも有罪と認定された。

小泉裁判官は「児童を保護する立場にある教師による犯行で責任は重い」と指摘した。

駐在所で10代少女にわいせつ行為などの罪 元警察官の男に懲役1年・執行猶予3年の判決 岡山地裁 12/6(水) KSB 瀬戸内海放送

岡山県倉敷市の駐在所で10代の少女にわいせつな行為などとして、岡山県青少年健全育成条例違反罪に問われていた元警察官の男(49)に対し、岡山地裁は懲役1年・執行猶予3年の判決を言い渡しました。

判決によると、男は2023年7月、家出中の10代少女を当時勤務していた倉敷市の駐在所に宿泊させて家出を手助けした上、後ろから抱きつくなどのわいせつな行為をしました。12月6日の判決公判で、岡山地裁の吉田真紀裁判官は「駐在所の窓の一部を段ボールで目張りして、発見を困難にするなどの行為は悪質」などと述べました。一方、「反省の態度を示している」として、懲役1年の求刑に対し、懲役1年・執行猶予3年の判決を言い渡しました。弁護側は控訴しない方針です。

被害十数人か 入所の幼児にわいせつ容疑、児童福祉施設の元職員逮捕

12/7(木) 朝日新聞

入所者の未就学の女兒にわいせつな行為をしたとして、埼玉県警は7日、県内の児童福祉施設の元職員藤原凌容疑者(25)=大阪府豊能町=を強制わいせつ容疑で逮捕し、発表した。行為を撮影してSNS上で公開していたといい「幼児が好きで、わいせつ行為をSNSに投稿すると承認欲求がみたされた」などと供述しているという。

藤原容疑者宅から押収されたスマートフォンには、容疑者が撮影したとみられる少なくとも十数人の女兒に対するわいせつ行為の動画や静止画が保存されていたという。県警が捜査している。少年課によると、逮捕容疑は1月23日、勤務先だった同施設内で、未就学の女兒の体を触るなどのわいせつな行為をしたというもの。児童ポルノなど、ネット上の違法な画像の投稿を監視するボランティア団体から「性的虐待の画像を投稿しているアカウントを発見した」と3月末に通報があり、女兒の被害が発覚した。保存されていた中には、藤原容疑者が以前に働いていた別の福祉施設で撮影されたとみられる女兒の画像もあるという。(仁村秀一)

男子生徒に性的な画像を送らせた疑い 修徳高サッカー部監督を逮捕 12/10(日) 朝日新聞

勤務する学校の男子生徒に性的な画像を送らせるなどしたとして、警視庁は10日、修徳中高校(東京都葛飾区)の教師で、同校の高校男子サッカー部監督の吉田拓也容疑者(29)=千葉県松戸市=を不同意わいせつ、性的姿態撮影等処罰法違反、わいせつ目的要求の各容疑で逮捕し、発表した。「画像を送らせたことに間違いありません。男同士のノリという感じでやっただけです」と供述しているという。

捜査1課によると、吉田容疑者は今年12月2日夜、生徒と教師の社会的な地位を利用し、同校の男子生徒に性的な画像を撮影するよう要求し、携帯電話で撮影させてSNSで送らせた疑いがある。男子生徒が母親に相談し、発覚した。男子生徒は同課に対し、今年の春ごろから「裸の写真を送れ」と要求されるようになり、数回送ったと説明しているという。吉田容疑者は、SNSでのやりとりについて「消せ」などと男子生徒に要求しており、同課は発覚を防ぐためだっただとみている。修徳高は私立。同校のウェブサイトなどによると、男子サッカー部は、全国高校サッカー選手権大会に9回出場の強豪。最高はベスト8。今年都予選では11月11日の決勝で堀越高に敗れていた。(増山祐史、遠藤美波、長妻昭明)

映像送信要求容疑で男再逮捕 宮城県警泉署が県内初適用 10代女性にわいせつな映像の送信を要求か 12/12(火) 河北新報

宮城県警泉署は12日、不同意わいせつと映像送信要求、児童買春・ポルノ禁止法違反（製造）の疑いで、住所不定、無職の男（30）を再逮捕した。改正刑法が7月13日に施行されて以降、映像送信要求容疑での逮捕は県内で初めて。再逮捕容疑は9月10日午後11時半ごろ、交流サイト（SNS）で知り合った県内の10代女性が16歳未満であることを知りながら、わいせつな行為の映像を撮影をさせ、その映像を容疑者の携帯電話に送信するよう要求するなどした疑い。署は認否を明らかにしていない。容疑者は11月22日、仙台市の女性に対する未成年者誘拐の疑いで逮捕され、12日付で処分保留となった。

痴漢、盗撮などで一律懲戒免職に わいせつ事案相次ぐ福岡市が厳罰化 12/14(木)朝日新聞

福岡市は盗撮やちかんなどのわいせつ事案を起こした市職員の懲戒処分を免職に厳罰化する。8日付で処分の指針を変更した。職員の逮捕が相次いだことなどが理由という。市人事課によると、新指針では、常習性のない盗撮（これまでは停職か減給か戒告）▽ちかんや不同意わいせつ（同免職か停職）▽18歳未満への淫行（同免職か停職か減給）は、いずれも一律で免職となる。ストーカー行為は「免職か停職」、公然わいせつは常習性の有無にかかわらず「免職か停職か減給」に。市教委や市消防局なども同日付で指針をそろえたという。同市では11月、市立中学校の用務員がストーカー、市職員が盗撮未遂の各容疑で相次いで逮捕された。今年度は12月8日時点で懲戒処分を受けた16人のうち、7人がわいせつ事案が理由という。同課は「指針が厳しくなったことで、研修や指示などを通して意識の向上につながれば」とする。高島宗一郎市長は6日の会見で、「盗撮などは例えばもしネットで拡散されるなどすれば、デジタルタトゥーとして被害者に対して大きな被害を与えることにもなる。こうしたことは絶対に許してはならない」と話した。同市では2006年、飲酒運転をしていた市職員が「海の中道大橋」（東区）で起こした事故で、幼いきょうだい3人が犠牲となった。事態を重く受けた市は職員の飲酒運転を原則免職に。飲酒運転になると知りながら酒を勧めたり同乗したりした職員も、免職あるいは停職の処分としている。（大下美倫）

25歳逮捕…女兒にわいせつ行為、勤務先の福祉施設で さらに撮影しSNS投稿「反響すごい」承認欲求を満たすため、入所の女兒がターゲット…サイバーパトロールで発見 複数の施設で働き、十数人の女兒を触っていた可能性 12/15(金) 埼玉新聞

福祉施設の入所女兒にわいせつ行為をしたとして、埼玉県警少年課と行田署の合同捜査班は7日、強制わいせつの疑いで、大阪府豊能町新光風台5丁目、元施設職員で無職の男（25）を逮捕した。

逮捕容疑は今年1月23日、県内の児童福祉施設で、入所している未就学女兒に対して体を触るなどのわいせつな行為をした疑い。容疑を認め、動機については「幼児が好きで、わいせつ行為をSNS（交流サイト）に投稿すれば反響がすごく、承認欲求が満たされる」と供述しているという。少年課によると、3月29日にSNS上をサイバーパトロールをしていたボランティア団体職員が児童ポルノ画像とともに「これから埼玉の福祉施設で仕事がある」旨の書き込みを発見。「女兒に対して、性的虐待をしている画像を投稿しているアカウントを見つけた」と県警本部へ通報した。強制わいせつ事件として捜査を始め、投稿内容や履歴などから男や事実を特定した。

男は県内の施設に数年勤務し、職員が自分1人になるタイミングを見計らって犯行に及んでいた。県警はスマートフォンなどを押収。少なくとも十数人の女兒にわいせつ行為をしている動画や画像が確認されたという。男はこれまでに県外でも複数の福祉施設で働いていて、県警は県内外で同様の犯行を繰り返していたとみて、捜査を進めている。

教え子の児童ポルノ所持 元中学校長が認める 東京地裁 12/19(火) 産経新聞

教え子の児童ポルノ動画などを所持していたとして、児童買春・ポルノ禁止法違反罪に問われた東京都練馬区立三原台中学校の元校長、北村比左嘉（ひさよし）被告（56）＝懲戒免職＝の初公判が19日、東京地裁（北原直樹裁判官）で開かれ、北村被告は「間違いありません」と起訴内容を認めた。検察側は冒頭陳述で、被告が平成21～25年ごろ、当時勤務していた中学校で顧問を務めていた部活動の部員の女子生徒2人に、ホテルなどでわいせつな行為をし、動画を撮影したと指摘。三原台中の校長に赴任後、動画データが入ったビデオカメラを校長室の机の引き出しに入れ、カギをかけて隠したとした。起訴状によると、5年9月10日、当時勤務していた三原台中の校長室で、児童ポルノ動画29点と静止画19点が入ったビデオカメラを所持したとしている。被告は9月、教え子の女子中学生に性的暴行を加えてけがをさせたとして準強姦致傷容疑でも警視庁に逮捕されている。都教育委員会は11月、被告を懲戒免職処分とした。

34歳巡查部長を懲戒免職 15歳少女と不同意性交、有罪に 神奈川県警

12/19(火) 時事通信

SNSで知り合った少女にホテルでわいせつな行為をしたとして、神奈川県警川崎署の男性巡查部長（34）が懲戒免職となっていたことが19日、分かった。不同意性交罪で起訴されており、横浜地裁で同日、懲役3年、執行猶予5年の有罪判決を受けた。巡查部長は横井巧被告で、免職は先月17日付。県警は被害者保護を理由に処分を公表していなかった。判決によると、横井被告は8月、同県箱根町や横浜市内のホテルで15歳だった少女とわいせつな行為をした。県警監察官室は「元職員が現職中の犯罪行為で有罪判決を受けたことは極めて遺憾。引き続き指導を徹底し、再発防止に努める」とコメントした。

無修正のわいせつ動画を投稿 元中学校教諭の女性に罰金20万円の略式命令 秋田

12/19(火) 秋田テレビ

無修正のわいせつ動画をインターネット上に投稿し、不特定多数が閲覧できるようにしたとして、秋田県大仙市の元中学校教諭の女性に罰金20万円の略式命令が出された。略式起訴されたのは、大仙市の元中学校教諭で無職の女性（39）。女性は2022年4月から10月にかけて、自宅で携帯電話を使って男女の陰部を撮影した無修正の動画データ5点をインターネット上のサーバーに送信して保存し、不特定多数の人が閲覧できるようにした「わいせつ電磁的記録記録媒体陳列」の罪に問われていた。女性は12月12日付で略式起訴され、15日に大曲簡易裁判所から罰金20万円の略式命令を受けた。

就寝中の女子児童触る…容疑の小学校教諭を再逮捕 学校の宿泊行事、別の女子児童にも教諭は黙秘／草加署 12/20(水) 埼玉新聞

宿泊行事で女子児童の体に触ったとして埼玉県草加市の小学校教諭が逮捕された事件で、草加署は19日、不同意わいせつ、児童買春ポルノ禁止法違反（製造）などの疑いで、越谷市蒲生旭町、同市立小学校教諭（33）を再逮捕した。再逮捕容疑は、今年8月23～24日、県外の宿泊施設で就寝中の10代の女子児童の体を触り、性的な児童の姿を撮影、児童ポルノ映像を作成した疑い。同署によると、教諭は11月29日、同じ宿泊行事で10代女子児童の体を触ったとして、不同意わいせつの疑いで逮捕されていた。同署がその後押収した資料を調べたところ、同日に別の女子児童の体にも触り、写真を撮影していたことが分かったという。市教委によると、8月23～24日、教諭が勤務する小学校は学校行事で福島県内に宿泊していたとされる。教諭は再逮捕容疑について、黙秘しているという。

「服に虫が…取ってあげる」 女兒を空き地に連れ込みわいせつ行為疑い 大学生の男を逮捕

12/20(水) KKT 熊本県民テレビ

小学校高学年の女子児童にわいせつな行為をし、スマートフォンで下半身を撮影したとして、20歳の大学生の男が逮捕されました。不同意わいせつと性的姿態等撮影の疑いで逮捕されたのは、熊本市中央区の大学生川上悠汰容疑者(20)です。警察によりますと、川上容疑者は19日午後4時頃、下校途中の小学校高学年の女子児童を空き地に連れ込んでわいせつな行為をし、下半身をスマホで動画撮影した疑いがもたれています。

川上容疑者は1人で下校中の女子児童に背後から近づき、「服に虫がついている。取ってあげるからあっちへ行こう」と空き地に連れ込んだとみられています。児童の帰宅後、母親が110番通報しました。女子児童の目撃証言などから川上容疑者が浮上し、任意同行で事情を聞き、その後逮捕しました。警察の調べに対し川上容疑者は「性的欲求を満たすために体を触りたかった」と容疑を認めているということです。警察は、詳しい状況の聞き取りと、他にも同様の犯行をしていないのかも調べています。

少女の全身に保湿クリーム 里親を監護者わいせつ容疑で逮捕 千葉 12/21(木) 毎日新聞

里子である18歳未満の少女にわいせつな行為をしたとして、千葉県警捜査1課は20日、里子を養育する県内の児童養育事業施設の職員、木村拓也容疑者(44)を監護者わいせつ容疑で逮捕した。「手のひらで直接触れた。触れてはいけない場所と分かっていたが、(性的欲求の)気持ち芽生えてしまった」と容疑を認めている。逮捕容疑は今年6～8月ごろの間、県内の自宅兼施設内で里子として育てていた少女の全身に保湿クリームを塗るなどのわいせつな行為をしたとしている。一時保護した児童相談所からの通報で11月に発覚。施設には里子である複数の少女が住んでいたという。県警は他にも同様の行為を行っていたとみて調べている。【林帆南】

新潟女児殺害、無期懲役確定へ 29歳男の上告棄却 最高裁 12/21(木) 時事通信

新潟市で2018年、小学2年の女児＝当時(7)＝を殺害し、遺体を線路に遺棄したとして殺人などの罪に問われた小林遼被告(29)について、最高裁第1小法廷(安浪亮介裁判長)は20日付で、被告側の上告を棄却する決定をした。無期懲役とした一、二審判決が確定する。裁判官4人全員一致の意見。一、二審で検察側は死刑を求めたが、上告は断念していた。小林被告は公判で「首を絞めたのは間違いないが、殺意はなかった」などと起訴内容を一部否認していた。

一審新潟地裁の裁判員裁判は19年12月、被告は娘が大声を出したため気絶させようと首を絞めており、死ぬかもしれないとの認識はあったと殺意を認定。一方で、計画性はなく「殺害方法も同種事件と比べ際立って残虐とは言えない」として死刑を回避し、検察、被告側双方が控訴した。二審東京高裁は22年3月、一審と同様に同種事件との均衡を重視し、「極刑がやむを得ないとまでは言えない」とした。有期刑を求めた弁護側主張については「弱者を狙った無差別な事件で、無期懲役の判断は動かない」と退け、双方の控訴を棄却した。一、二審判決によると、小林被告は18年5月7日午後、新潟市西区の路上で下校中の娘に車を衝突させて連れ去った。車内でわいせつな行為をした上、首を手で絞めて殺害し、遺体を線路上に放置して電車にひかせた。

教員、少女にわいせつ 金沢管内、懲戒免職 12/22(金) 北國新聞

●県教委 石川県教委は21日、18歳未満の少女とわいせつな行為をしたとして、金沢教育事務所管内（かほく市以南、白山市以北）の中学校の男性教員を同日付で懲戒免職処分とした。県教委は、少女側が処分や公表を望んでいないため、行為があった時期や二人の関係性は明らかにしなかった。県教委の基準では、懲戒免職処分の場合、原則として氏名や年齢、勤務校などを公表することになっているが、今回は少女側の意向をくみ非公表とした。県教委によると、男性が自ら校長に打ち明けて発覚。男性は「未熟だった。相手の女性に申し訳ないことをした」と話しているという。県教委は事案を県警に通報した。このほか、今年8～10月、同じ学校の女子生徒1人にSNS（交流サイト）で学校業務や雑談などの不適切なメッセージを送ったとして、金沢教育事務所管内の中学校の女性教諭（50）を戒告処分とした。県教委の通知では生徒と個人的にSNSでやりとりすることは禁止している。北野喜樹教育長は「教育に対する信頼を失墜する行為で深くおわびする。再発防止と信頼回復に全力で取り組む」とコメントし、学校長や市町教委に綱紀粛正を求める通知を出した。今年度の懲戒処分は計5件となり、わいせつ事案は初となる。

多目的トイレに連れ込み女子高校生に性的暴行容疑、会社員を逮捕 12/26(火) 産経新聞

駅のトイレに連れ込んだ女子高校生（18）に性的暴行を加えたなどとして京都府警伏見署は26日、わいせつ略取と監禁、不同意性交の疑いで奈良市押熊町の会社員、大石哲也容疑者（56）を逮捕した。容疑を認めている。逮捕容疑は13日午前、電車内で通学中の女子高校生の背後から体を触るなどしたほか、京都市伏見区内の駅で下車したところを追跡し、駅の多目的トイレに連れ込んで性的暴行を加えたなどとしている。伏見署によると同日、保護者が府警に相談し発覚。防犯カメラの映像などから容疑者の関与が浮上した。

三重県警がハラスメント防止の講演会 なでしこリーグ監督らを講師に迎える

12/27 日刊警察

三重県警は、県警本部で女性の輝きを導き出す育成方法やハラスメント防止のための講演会を開催した。女子サッカー・なでしこリーグ1部の「伊賀FCくノ一三重」のトップチーム監督で元Jリーガーの北村隆二氏と、同チームアシスタントコーチで女子サッカー元日本代表の那須麻衣子氏を講師に迎えた。

講演に先立ち、女性活躍推進メッセージ「輝け女性!!さらなる高みを目指して」や、選手・監督らのサインが入ったユニホームが、コンプライアンス推進監に贈呈された北村氏は、男子と女子のサッカーチームを率いてきた経験から、男女の特性の差異や指導方法の違いを紹介したほか、日々心掛けているハラスメント防止対策について説明した。女子サッカー界の状況、コミュニケーションの大切さ、選手のモチベーションを上げる指導方法に触れた那須氏は「女性指導者としてさらなる高みを目指して努力し続けたい」などと熱く語った。

インターネット関係

リアルな生成AI 性的画像が氾濫、実在の被害児童と区別困難…削除要請や捜査にも支障

12/2(土) 読売新聞

画像生成AIで作られたとみられる児童の性的画像が国内サイトに大量に投稿されている問題で、被害者が実在する児童ポルノ対策への支障が始まっている。AIによる児童の性的画像は児童買春・児童ポルノ禁止法の原則対象外。ネット上で拡散すれば、そのリアルさゆえに被害児童が実在する画像と区別がつかなくなり、削除要請や捜査などが困難になるという。(桑原卓志)

「これは実在する児童だろうか」。「LINEヤフー」などプラットフォーム事業者らでつくる「セーフターインターネット協会」(東京)の担当者が、戸惑ったのは今年9月のことだ。

同協会は、ネット利用者からの通報などを基に、児童ポルノや違法薬物の売買、詐欺行為などに関する投稿を確認し、サイト運営者などに削除を要請している。警察に通報することもある。

しかし、その時は連絡を受けた画像に不自然な部分があり、複数の担当で検証する必要に迫られた。結局、AIで作られた可能性が高いと判断し、削除要請しなかったという。

児童ポルノ禁止法は、18歳未満の性的画像を製造・公開し、性的好奇心を満たす目的で所持することを禁じる。だが、児童が実在することが要件で、AI由来のものは原則対象外だ。

わいせつな画像などを取り締まる刑法のわいせつ物頒布罪はAIが作った画像も対象と考えられる。しかし、要件が厳しく、下半身の露出などがないと摘発できない可能性が高い。同罪で取り締まれるAI由来の児童の性的画像はごく一部にとどまるとみられる。

協会の削除要請は児童ポルノ禁止法などに基づいている。中嶋辰弥事務局長は「法の根拠なく、AI画像の削除要請をすれば『表現の自由』の制限につながりかねない。慎重に判断する必要がある」と話す一方、「被害児童が実在する画像の削除要請が遅れば、ネットにさらされ続けることになる」と危惧する。

サイトに接続できないようにする「ブロッキング」も同様だ。削除要請に応じない海外サイトを想定し、通信事業者に要請するもので、業界団体「インターネットコンテンツセーフティ協会」(東京)事務局の桃沢隼人氏は「『疑わしきはブロッキングせず』にならざるをえない」と話す。

捜査への影響も懸念される。西日本のある警察幹部は「AI画像が大量に出回れば、実際に被害児童がいる画像が埋没してしまい、被害の発覚や摘発が遅れかねない」と危機感を示す。

読売新聞の取材では、複数の国内サイトでA Iによるとみられる児童の性的画像が大量に投稿されている。海外からも多数の閲覧がある。こうした画像は欧米の主要国では法規制の対象となっており、規制の緩い国内サイトには海外の愛好者が集まっている恐れがある。

画像生成A Iの最大の特徴は、文章を入力するだけで、精巧な画像が大量に短時間で作れることだ。

関東地方の50代の男性会社員は「1日で1000点以上画像を作ったこともある」と話す。

男性は今年5月頃からネットで知った画像生成A Iの無料ツールにのめり込むようになった。児童の性的画像だけでこれまで4000点以上投稿。画像の販売も行い、月数万円の収入があるという。

男性は投稿する際、A Iで作ったことを明示している。「仕事の合間に作れ、いい小遣い稼ぎになる」と話す一方、「ネットで転載され、A Iで作ったことを隠されたら、実物と区別がつかないかもしれないですね」と悪びれずに言った。

偽画像を見抜く技術も進化

生成A Iを巡っては、偽画像も問題となっている。そうした中、A I画像かどうか見抜く技術の研究も進んでいる。

国立情報学研究所（東京）の越前功、山岸順一両教授の研究チームは2021年、人の顔の画像や動画がA Iで作られたものかどうかを判定するプログラムを開発した。大量のA I画像を学習し、人の目ではわからない細かな特徴を検出し、高精度で判定可能という。

越前教授は「対策に取り組む団体やサイト運営者などが活用できる態勢を整えていきたい」と話す。

A I開発企業「ナプラス」（東京）も同様のプログラムを開発。法人や個人が利用できるサービスの提供に向けて、準備を進めている。

しかし、A Iの進歩は著しい。原田伸一郎・静岡大教授（情報法）は「A Iが進歩するたびに判定技術も対応する必要がある、『いちごっこ』になる。人権に関わる画像は、『A I生成』と明示したり、第三者が識別できるデータを埋め込んだりするよう義務づける法整備を検討すべきだ」と指摘する。

一方、判別が可能になっても、A I画像が拡散すると本物が埋没し、対策に支障が出る構図は変わらない。

甲斐田万智子・文京学院大教授（子どもの人権）は「A Iによる児童の性的画像は、子どもを性的対象にしても構わないという誤った考え方を広める。国際基準に沿って、児童ポルノ禁止法の改正を含め、規制の議論を進めることこそが重要だ」と話した。

話 題

近畿の警察官表彰式 滋賀県警鑑識課の杉田美和警部補「信頼の鑑定続ける」

11/30(木) 産経新聞

大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）で30日に開かれた第137回「近畿の警察官」（産経新聞社提唱、県信用金庫協会など協賛）の表彰式。滋賀県警鑑識課の杉田美和警部補（51）は、「壇上でこれまでのことをいろいろ思い出した。これからもがんばろうといういい機会になった」と喜びを語った。杉田警部補は平成6年に県警巡査を拝命。以来、22年余りを鑑識課員として勤務してきた。21年に県内の高校で発生した強制わいせつ事件など、現場で採取した指紋から多くの事件を解決に導き、25年には近畿2府4県で初の女性指掌紋鑑定官に指定された。表彰式で、夫の善教（よしのり）さん（52）と壇上に上がった杉田警部補は、産経新聞社の五嶋清・取締役大阪代表から表彰状を受け取った後、善教さんから「警察官章バッジ」を左胸に付けてもらい笑顔を見せた。杉田警部補と善教さんは高校の同級生。善教さんは「普段から家事も育児も手を抜かない人。目をよく使う仕事なので、これからも体に気を付けてほしい」とねぎらい、仲むつまじい様子をみせた。今後について杉田警部補は「これまでの経験を生かし、信頼される鑑定を続けていきたい」と気を引き締めた。

わいせつ被害、護身術で対処を 学生ボランティアが動画撮影 12/3(日) 産経新聞

突然襲われるわいせつ被害から身を守るための方法を発信しようと、兵庫県内に住む大学生らでつくる学生ボランティア団体「ブルーフェニックス隊」が護身術を分かりやすく伝える動画を撮影した。後ろから抱きつかれた場合などの対処法を伝えるもので、学生自らが15～30秒程度の動画に仕上げ、X（旧ツイッター）とインスタグラムの同隊アカウントなどに投稿。啓発動画の配信は初めての試みという。ブルーフェニックス隊は、若者の発想で犯罪対策の啓発活動に取り組もうと、県警などが今年6月に立ち上げた団体で、県内の大学に在学、もしくは県内に在住する大学生ら約170人が参加している。先月24日には、尼崎北署で、女性対象の護身術教室が開催され、同隊の痴漢対策の啓発に取り組むグループのメンバーが参加。県警の警察官から護身術を学んだ後、学生が加害者役と被害者役に分かれ、正面から片手をつかまれた場合▽正面から両手をつかまれた場合▽背後から抱きつかれた場合―など7つのケースを想定した対処法について、一連の動作や手元の動きまで分かるよう細部にまでこだわって撮影した。加害者役として撮影に参加した同隊メンバーで、武庫川女子大3年の田中二葉さん（21）は「護身術を知らない女性も多いはず。動画でポイントを分かりやすく伝えて、自分で自分の身をまもる方法を広めていきたい」と話していた。県警によると、今年上半期（1～6月）に成人女性が不同意わいせつや強制性交、痴漢、盗撮などのわいせつ被害に遭った認知件数は、前年同期比81件減の697件に上る。特に、不同意わいせつ被害では、深夜に一人で歩いているときに狙われやすいという。県警の担当者は、歩きスマホや両耳にイヤホンをつけて音楽を聴くなどの「ながら行動」はしないよう注意喚起している。

痴漢も盗撮もクビ…福岡市、職員懲戒指針を改定 わいせつ事案減らず 12/6(水) 毎日新聞

福岡市は6日、職員によるわいせつ事案について懲戒処分を厳格化すると発表した。痴漢や盗撮など停職や減給での処分もあり得た行為も原則、最も重い「免職」とする。市の「懲戒処分の指針」を8日にも改定し、市教委なども準じる見通し。総務省によると、同様の規定は「あまり

聞いたことがない」という。6日の記者会見で高島宗一郎市長が明かした。現行の指針では、公共交通機関などでの痴漢行為＝免職または停職▽公然わいせつ・盗撮＝停職、減給または戒告▽ストーカー行為＝免職、停職または減給——などと処分の幅がある。市によると、2023年度はこれまで教員を含む16人が懲戒処分となり、うち約半数の7人はわいせつ事案が理由。22年度も15人のうち5人が該当していた。市は綱紀肅正を求める通知を再三出してきたが、職員によるわいせつ事案が減らない実情を重視。性暴力被害の実態に合わせて性犯罪規定を見直した改正刑法などが7月に施行されたことも考慮し「わいせつ被害への市民の捉え方も厳しくなりつつあり、市への信頼失墜につながる」（市人事課）として指針の見直しに踏み切った。会見で高島市長は「盗撮は（画像などが）ネットで拡散されたら（デジタル空間で情報が長期間残り続ける）『デジタルタトゥー』として被害者に非常に大きな被害を与える。絶対に許してはならないし、いわんや公務員なら（許してはならないのは）当然だ」と見直しの理由を説明した。公務員制度に詳しい立教大の上林陽治特任教授（労働社会学）は「行政側の使用者責任を考えた時、職員を一律で免職処分とするのは慎重になるべきだ。公務員だからといって単純に解雇するよりも、わいせつ事案がなぜ繰り返されるのかを組織全体で考え、二度と起こさないよう職員に更生トレーニングなどを行うことが、本当の意味で使用者責任を果たすことになる」と指摘する。市は海の中道大橋（同市東区）で06年、飲酒運転の市職員（当時）の車が親子5人の乗る車に衝突し、幼児3人を死なせた事故を受け、飲酒運転については原則、免職処分としている。【竹林 静】

沖縄県警が防犯フェア 多彩な内容で犯罪被害防止を啓発 12/7（木）日刊警察

沖縄県警本部は、県内最大級のショッピングモール「イオンモール沖縄ライカム」で「防犯フェア2023」を開催した。

「自転車盗難」と「闇バイト」がテーマで、ゲストに迎えたお笑い芸人による防犯寸劇、県警音楽隊ミニコンサートをはじめ、「自転車鍵掛け甲子園」の表彰式、小学生自ら通学路等を点検して制作した「子ども地域安全マップ」の表彰式など盛りだくさんの内容。イベントでは、宮城貴生活安全部長が「この機会に防犯に関する意識を高めていただくとともに、地域安全運動への一層のご理解とご協力を賜りたい」とあいさつした。

宮崎県警で小中学生と高齢者がサイバーセキュリティを学ぶインターネット利用教室

12/12（火） 日刊警察

宮崎県警は、県内唯一の有人離島「島浦島」に所在する義務教育学校「延岡市立島野浦学園」で、学園の児童・生徒と島在住の高齢者が楽しみながらサイバーセキュリティについて学ぶインターネット利用教室を実施した（写真）。スマートフォンを利用したサポート詐欺などの犯罪、ネットを介したトラブルに巻き込まれないように、クイズ形式で知識の習得を図った。

「座学」「ゲーム」の2部構成で行われ、座学パートでは、小・中学生を対象とした「子どもクラス」、高齢者等を対象とした「シニアクラス」を編成。子どもクラスでは特定サイバー防犯ボランティアに委嘱されている国立大学法人宮崎大学の学生が「インターネットを正しく安全に使

おう」、シニアクラスではサイバー犯罪対策課が「安全・安心なインターネット、スマートフォンの利用」についてそれぞれ講義した。

兵庫県警で県警サイバー防犯ボランティアに対する研修会 12/13（水） 日刊警察

兵庫県警本部サイバーセキュリティ・捜査高度化センターサイバー企画課は11月15日、県警サイバー防犯ボランティアに対する研修会を開催した。

11人が参加。それぞれが取組みについて発表したほか、（株）ラック客員研究員・七條麻衣子氏による「若年層のネット活用と大人・社会の役割とは」と題する講演を受講した（写真）。研修後、参加者からは「今後、子供たちへの講演を行ううえで、適切な相談先を伝えられるように取り組みたい」などの感想が聞かれた。

大分県佐伯署が防犯パレード 関係団体等と特殊詐欺被害防止を呼び掛ける

12/11（月） 日刊警察

大分県佐伯署は佐伯市鶴岡地区で防犯パレードを行い、特殊詐欺被害防止などを呼び掛けた。全国地域安全運動の一環で、コロナ禍により4年ぶりの開催となった商工祭にあわせて行われた。鶴岡地区少年補導員会や鶴岡地区安全安心パトロール隊、市防犯協会の関係団体をはじめ、県立佐伯豊南高校、日本文理大学附属高校、市立鶴岡小学校、同署などから約1000人が参加。パトカーを先頭に、鶴岡小学校鼓笛隊や鶴岡子ども神輿、日本文理大学附属高校吹奏楽部などが、商店街を含む約1.5kmを練り歩いた（写真）。

地域住民が沿道から見守り、地元ケーブルテレビが取材に訪れるなか、県警防犯イメージキャラクター「まもるくん」「かけるくん」もパレードに加わった。また、参加者は詐欺被害防止や自転車の鍵掛けを促す内容のチラシなども配布し、市民の防犯意識を高めた。

宮崎県警が大学生ボランティアと協働で防犯キャンペーンを展開 12/19 日刊警察

宮崎県警本部生活安全少年課は宮崎市内の4大学（宮崎大・宮崎公立大・宮崎国際大・宮崎産業経営大）の学生ボランティア団体と協働し、JR宮崎駅付近で防犯キャンペーンを実施した。金融機関対象の強盗等凶悪事件の発生が懸念される年末を迎え、県独自に行っている「年末年始の地域安全運動」にあわせ、県民の防犯意識をさらに高めることが目的。

参加した学生は緊張した様子だったが、「防犯キャンペーン中です。特殊詐欺被害防止など防犯対策のチラシです」などと元気に声を掛け、通行人に広報啓発用チラシなどを配布した。

今月の有害図書指定一覧

岡山県 令和5年12月1日指定

ぶんか社	無敵恋愛 S girl DX 2023年11月号
双葉社	週刊大衆 11月13日号
大洋図書	文化実話ナックルズ vol.28
徳間書店	週刊7世芸能 11.2-9号合併特大号
日本ジャーナル出版	週刊実話 ザ・ラブ - 12月5日号

岐阜県 令和5年12月 包括指定

株ぶんか社	RK COMICS けん月影珠玉作品選 北斎まん画編
株ぶんか社	RK MOOK COMICS お杏 Vol.8
株竹書房	月間 劇漫スペシャル 2024 1月号
株大洋図書	劇画 ロマン vol.27

協会からのお知らせ

理事会の開催

理事会 1月18日 午後4時00分～ 於：協会事務所

協会ホームページ

協会ホームページでは、会員店舗・有害図書指定等の情報を掲載しております。どうぞ活用して下さい。

会員募集

協会では、青少年健全育成のための活動を行っております。ご協力いただける会員を募集中です。協会事務局までお問合せ下さい。

TEL 03-5327-4224 FAX 03-5327-4225 [メールアドレス sna@sna-j.com](mailto:sna@sna-j.com)